

- 知的財産権
 1. 著作権
著作物を作った人に認められる知的財産権。著作物とは、思想又は感情を文章や音、絵などで創造的に表現したもの。
 2. 著作者人格権
著作者が自身の著作物について有する人格的利益を守る権利。
 3. 著作財産権
著作者の財産的な利益を保護する著作権。複製権、翻訳権、上映権、演奏権、放送権や二次著作物の利用権などがある。譲渡や相続ができる。
 4. 著作権法
知的財産としての権利の帰属を規定している法律。原稿がない即興の講演であっても著作権は、講演者に帰属する。法人の発意に基づき、その法人の従業員が職務上作成するプログラムの著作権は、別段の定めがない限り、その法人が著作者となる。
 5. 産業財産権
知的財産権のうち、新しい技術、新しいデザイン、ネーミングなどについて独占権を与え、模倣防止のために保護したり、取引上の信用を維持したりするための4つの権利。これらの権利は、特許庁に申請して登録されることで、独占的に使える権利が認められる。
 6. 特許権
自然法則を利用した技術的思想に基づいた発明の権利を保護する産業財産権。コンピュータを活用して新しいビジネスモデルを構築した場合などに、ビジネスモデル特許として認められる場合もある。
 7. 実用新案権
製品によって実現されたアイデアなどの権利を保護する産業財産権。

8. 商標権
文字や図形、記号、立体的形状などで表した商品のマークなどの権利を保護する産業財産権。
9. 意匠権
物の形状や模様、色彩などで表した商品のデザイン、製品を収納するパッケージのデザインなどの権利を保護する産業財産権。
10. クロスマイセンス
特許の権利者同士がそれぞれの所有する権利に関して、相互にその使用を許諾すること。
11. パブリックドメインソフトウェア (Public Domain Software)
著作者が著作権を主張しないことを宣言していて、著作者に断ることなく、コピーや改変を自由に行うことのできる無料のソフトウェア。
12. 不正競争防止法
営業秘密を保護する法律。他社に損害を与える目的で、他社のサービス名と類似したドメイン名を取得して使用するような行為を禁止している法律。
13. M&A (Merger & Acquisition)
自社にない技術を有する企業を吸収合併することによって、その企業が有する特許を得ること。
- セキュリティ・労働・取引
14. 不正アクセス禁止法
パスワードを使って保護されているサーバに、ネットワーク経由で他人の ID とパスワードを使ってログインすることなどを禁じている法律。他人の ID とパスワードを、本人の許可なく、その利用方法を知っている第三者に教えることも禁じられている。実際に被害が発生しなくても、不正アクセス行為をするだけで違反となる。
15. 特定商取引法
訪問販売や通信販売などのトラブルが生じやすい取引において、消費者を保護するために、事業者が守るべきルールを定めた法律。

16. 労働基準法
従業員の賃金や就業時間、休暇などに関する最低基準を定めた法律。
17. 製造物責任法(PL 法/Product Liability)
正しい使い方をしているにもかかわらず消費者に危険がある製品を製造・販売をした者の責任を問ひ被害者を保護することを目的とした法律。
18. 個人情報保護法
個人が特定できる情報を取得する際には個人情報の利用目的を通知し、その利用目的を超えて取り扱ってはならないことや、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならないことなどを規定した法律。
19. 公益通報者保護法
国民生活の安心や安全を損なうような企業の法令違反行為の事実を、労働者が同法で定められた通報先に通報した場合、その労働者は同法によって解雇などの不利益を受けないよう保護される法律。
- ガイドライン・標準化
20. システム管理基準
組織が経営戦略と情報システム戦略に基づいて情報システムの企画・開発・運用・保守を行うとき、そのライフサイクルの中で効果的な情報システム投資及びリスク低減のためのコントロールを適切に行うための実践規範。
21. コーポレートガバナンス
企業の目的に適合した経営が行われるように、経営を統治する仕組みのこと。
22. コンプライアンス経営
企業倫理に基づき、ルール、マニュアル、チェックシステムなどを整備し、法令や社会規範を遵守した企業活動を行うこと。
23. ディスクロージャ
投資家やアナリストに対して、投資判断に必要な正確な経営情報を適時に、かつ継続して提供すること。

24. ISO (International Organization for Standardization)
工業や科学技術に関して、国際標準化機構が定めた規格。
25. JIS (Japanese Industrial Standards)
ISO など国際的な規格との整合性に配慮し、鉱工業の分野ごとに製品の種類・形状・構造などに関して日本工業規格として定めた規格。
26. JIS Q 9001 / ISO 9001
品質に関するマネジメントシステムの規格。品質とは「本来備わっている特性の集まりが要求事項を満たす程度」と定義されている。
27. JIS Q 14001 / ISO 14001
環境マネジメントシステムの規格。
28. JIS Q 27001 / ISO・IEC 27001
情報セキュリティマネジメントシステムの規格。
29. JAN コード
流通システムや販売情報システムなどで用いられている商品コード。
30. QR コード
上下左右どの方向からでも、コードを読み取ることができる二次元コード。
31. デファクトスタンダード
特定の企業やグループなどが採用した仕様が広く使用されるようになり、事実上の業界標準になったもの。

下記の練習問題で理解を深めましょう！



- ✓ 翔泳社「情報処理教科書 i パスクイズ 222 IT パスポート試験攻略の書」
- ✓ IT パスポート試験合格講座 <http://rakupass.com/itpassport/>



Copyright © RakuPass.Com - Kanya Ishikawa All Rights Reserved.